

自分の好きなこと・得意なことで、生活や社会の問題を解決しよう ～より良い社会を築くために、私がこれからできることは何か？～

本単元での情報活用能力の具体

【情報の収集】手法8：ペン図を用いて整理・分析する

1 日 時 令和7年9月30日（火）5校時 13:30～14:25

2 場 所 3年A組教室、音楽室

3 学年・学級 3年A組 25名（男子10名 女子15名）

4 単元設定の理由

(1) 単元観

第3学年の探究テーマは「社会貢献」である。本単元は、生徒が個々で設定したテーマの問題解決を目指した単元である。この単元の実生活や実社会の課題を解決し、社会に還元している姿は、生徒が生活や社会から焦点化した問題解決に自分の好きなこと・得意なことを生かして取り組んでいる姿である。

この単元の本質的な問いは、「より良い社会を築くために、私がこれからできることは何か？」である。また、この問いを生徒と共に考えるために、単元を貫く問いを「より良い社会を築くために、私が今できることは何か？」と設定した。

(2) 生徒観

生徒は、1年時に「大和町を活性化させるための米袋のアップサイクル商品の開発」を学年全員で課題設定をして学習に取り組み、2年時に「働くことの意味や自分の社会参画を考えるための職場体験」を学年全員で課題設定をして学習に取り組んだ。本単元導入時に実施したアンケートの結果を表に示す。

表 アンケート結果

質問	肯定的回答率
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか？	70.8%
総合的な学習の時間の授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	75.0%
総合的な学習の時間の授業では、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	83.3%
総合的な学習の時間の授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。	95.8%

この結果と昨年度までの指導内容を踏まえて、生徒の現状を次のように考察した。

1点目、地域や社会の問題を解決したいと考えている生徒が7割程度に留まっている。この原因として、2年時の学習では、勤労観や自己の生き方について考えることが中心の単元となっており、地域や社会の問題解決の活動に十分に踏み込めていなかったことが考えられる。

2点目、課題の解決に向けて自分から取り組めたと考えている生徒が7割5分に留まっている。この原因として、これまでの総合的な学習の時間の課題の設定の場面では、個人の興味・関心に応じた課題を設定することができておらず、全員一律の課題設定となっていたことで自分事として取り組めていなかったことが考えられる。

(3) 指導観

この單元の中で、探究が自律的に行われるようにするために、次の3点に留意する。

1点目、生徒自らが生活や社会の中から見出した問題を取り上げ、「社会参画」の考えを醸成することである。3学年では、探究対象を実社会の複雑な問題により近づけるために、探究テーマを「社会貢献」とする。そして、自らが生活や社会の中から見出した問題の解決に向けたプロジェクト型学習を実施する。これまでお世話になってきた大和町の事業所や専門家に助言を受けながら問題解決に取り組む中で、社会に貢献する喜びを実感させ、今後、どのようにして社会に貢献していくかについて考えさせる。

2点目、2年時の探究を自分から取り組めていなかった生徒がいることを踏まえ、体験活動から課題を設定する場面を設けることで「自己課題」を高めることである。自分の力で取り組める実現可能性の高い課題を見つけ、自分から取り組むには、自己理解が大切であると考え。そこで、1サイクル目の課題の設定の場面では、自分の好きなこと・得意なことを生かして、「どんなことが、どこまでできるのか」を確認する時間を設ける。また、1サイクル目の情報の収集の場面では、これまでの総合的な学習の時間やキャリアログを振り返り、自分が気になる社会問題や地域の問題について、調べる時間を設ける。これにより、自分の好きなこと・得意なことを生かせる課題の設定やゴール設定につながる。と考える。

3点目、ゼミ形式で担当教員が一人一人の探究に伴走することで、一人一人の「運用」の力を高めることである。これまで学年やグループでの探究を中心としてきたため、一人一人が自分の力で、課題を設定したり計画を進めたりすることが難しい実態がある。そこで、一人一人を自立した学習者にするために、個人探究を担当教員によるゼミ形式で実施する。探究テーマの設定・探究計画立案の場面では、探究のゴールや解決の手順について考える。この際に、教員の指導は各生徒の探究計画の1サイクル目までに留め、ゴールまでの全ての計画には携わらない。2サイクル目以降は、1サイクル目終了時に「ゴール達成に向けて何が足りないのか」、「そのためにどうすればよいのか」を問い、これまでの総合的な学習の時間の探究の過程を振り返らせ、生徒の考えを引き出し、運用の力を高める。また、授業前後で振り返りをもとに、面談を実施し、活動の相談に乗ったり、適宜軌道修正をしたりする。

5 単元の目標

- 自分の好きなこと・得意なことを生かした個人探究を通して、実生活や実社会に広がっている複雑な問題の現状について理解し、解決の方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てるとともに、生活や社会の中から、自分で解決できることを新しく見つけることができるようにする。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【①知識】 生活や社会に広がっている複雑な問題の現状について理解している。 【②技能】 自分の好きなこと・得意なことを生かして、自分が設定したゴールに応じた成果物を作成している。 【③探究的な学習のよさの理解】 生活や社会問題の解決が、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解している。	【④課題の設定】 解決の方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てている。 【⑤情報の収集】 課題の解決に必要な情報を効率的に収集する手段を選択している。 【⑥整理・分析】 収集した情報を比較したり、関連付けたりして、課題の解決方法に確かな理由や根拠を持っている。 【⑦まとめ・表現】 交流会を目的に、整理した結果や自分の考えを効果的に表現している。	【⑧自己理解・他者理解】 自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとし、異なる他者の考えを受け入れようとしている。 【⑨主体性・協働性】 自分の意思で目標に向かって、課題の解決に取り組もうとし、自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に取り組もうとしている。 【⑩将来展望・社会参画】 生活や社会の問題を解決する中で、自己の生き方を考え、自分で解決できることを新しく見つけようとしている。

7 本単元での情報活用能力の具体

以下の生徒は、介護職に就職する人を増やすために、シナリオゲームを用いて、同じ学校の生徒に介護の仕事内容および魅力を発信する。そのために、2つの情報を収集した。1つ目は、生徒を対象にアンケート調査を実施し、生徒が既に知っている介護の仕事内容について、2つ目は、介護の仕事内容に関する書籍を読み、介護の仕事内容について調べたものである。この2つの情報を比較し、生徒が知らない介護の仕事内容を整理し、この内容をシナリオゲームに組み込むことにした。



8 指導と評価の計画（全 50 時間）本時 27/50

次	時	学習内容	生徒の思考の流れ 「介護×シナリオゲーム」を テーマにした生徒の例	観点			単元の評価規準 (評価方法)
				知	思	主	
一	1 ～ 10	<p>目標：社会貢献をする術を考えよう。</p> <p>○ガイダンスを聞き、個人探究の流れを理解する。</p> <p>○自己理解を深めるために、キャリアログを見返し、自分の好きなこと・得意なことをウェビング図に書き出す。</p> <p>○自分の好きなこと・得意なことを突き詰めて、「どんなことが、どこまでできるのか」を確認するために体験活動を行う。</p>	<p>・今年は、去年までみんなでやってきたことを一人で進めれば良いな。</p> <p>・生活を振り返ってみると、自分はゲームに興味があるな。</p> <p>・シナリオゲームのシナリオを初めて書いたぞ。実際にやってみて、シナリオは、日数や選択肢の数に応じて、難易度が上がることがわかったぞ。短い日数に限定すれば、形にすることができそうだ。</p>				⑧ 自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとし、異なる他者の考えを受け入れようとしている。【⑧自己理解・他者理解】(振り返りシート)
	11 ～ 15	<p>目標：解決を目指す生活や社会の問題を調べよう。</p> <p>○解決を目指す生活や社会の問題を調べる。</p>	<p>・高齢化が進む現代社会では、介護現場で人材が不足していることがわかったぞ。</p> <p>・大和中学校の生徒の介護</p>				

		に対する理解やイメージはどうか調べてみよう。				
16 ～ 20	目標：生活や社会の問題と自分の好きなこと・得意なことを関連付けて、探究テーマを設定しよう。					
	○解決を目指す問題を焦点化する。	・将来の働き手となる中学生に介護業界の仕事内容やイメージを向上させる情報を発信できれば、人材不足が解消されると思う。大和中学校の生徒なら自分でも発信できそうだ。				
	○焦点化した問題と好きなこと・得意なことを関連付けて、探究のテーマ「問題×方法」を設定する。	・ゲームの良さは、疑似体験ができることだから、「介護×シナリオゲーム」で社会貢献をしよう。				
21 ～ 40	目標：自分の好きなこと・得意なことを生かして、問題を解決しよう。					
	【課題の設定】 ○問題を解決したゴールの姿を設定する。	・校内の人にシナリオゲームを体験してもらって、再度アンケートを実施して、仕事内容の理解やイメージが向上していることを目指すぞ。			⑨	自分の意思で目標に向かって、課題の解決に取り組もうとし、自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に取り組もうとしている。【⑨主体性・協働性】(行動観察)
	○問題を解決するための手順を考える。	・まずは介護の仕事内容を調べることで、そして、シナリオの書き方について調べるぞ。		④		解決の方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てている。【④課題の設定】(探究記録シート)
二	【情報の収集】 ○課題を解決するための情報を収集する。	・書籍を読むことで介護の仕事内容とやりがい、シナリオゲームの書き方がわかったぞ。		⑤		課題の解決に必要な情報を効率的に収集する手段を選択している。【⑤情報の収集】(探究記録シート、まとめ資料)
	【整理・分析】 ○課題を解決するために情報を関連付ける。	・事前アンケートからわかったみんなが知らない介護の仕事内容と書籍からわかった介護の正しい声掛けや対応をシナリオに入れるぞ。 ・集めた情報を生かして、5日分のプロット(ストーリーの骨子)を作成しよう。		⑥		収集した情報を比較したり、関連付けたりして、課題の解決方法に確かな理由や根拠を持っている。【⑥整理・分析】(探究記録シート、まとめ資料)

	<p>【まとめ・表現】</p> <p>○課題を解決するために、成果物を作成する。(イベントの実施等も含む)</p> <p>○ゴールを達成できたか確認する。</p> <p>※ここからは、生徒によって探究のサイクルが何サイクルも展開する生徒が出てくる。</p>	<p>・プロットをシナリオにまとめるぞ。</p> <p>・シナリオが自分の意図したものになっているか、ゼミの人に相談しよう。</p> <p>・校内の人にシナリオゲームを体験してもらいアンケートを実施したら、仕事内容の理解度やイメージは向上したが、働きたいと思う人はそんなに増えなかったな。</p>	②			<p>自分の好きなこと・得意なことを生かして、自分が設定したゴールに応じた成果物を作成している。【②技能】(成果物)</p>
41	目標：探究の過程を振り返ろう。					
41 ～ 44	<p>○探究の過程を振り返る。</p> <p>○新たな課題を設定する。</p>	<p>・計画を立てて、適宜修正したことで、これまで一人で探究のサイクルを回すことができたな。</p> <p>・介護業界の仕事内容は精神的・身体的に負担が多いものばかりだ。これが、就職希望や離職につながっているんだな。</p> <p>・中学校での探究の時間は終わったけれど、介護業界で働く人に、再度やりがいなどインタビューをして問題を解決する方法を考え直してみたいな。</p>	①			<p>生活や社会に広がっている複雑な問題の現状について理解している。【①知識】(まとめ資料)</p>
45	目標：お互いの今後の学習や生活に生かすために探究の過程および成果を交流しよう。					
45 ～ 50	<p>○探究の過程および成果を資料にまとめる。</p> <p>○資料を交流し、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする。</p> <p>○個人探究の取組による</p>	<p>・社会貢献をする術を自分で設定したことは、将来の職業選択や働き方を考える良い機会になったな。</p> <p>・問題の解決手順を○○さんのようにすれば、自分ももっとうまく問題を解決できたと思う。</p> <p>・他の人の発表を聞いて、自分の力は、○○の問題解決にも生かすことができそうだ。</p> <p>・いろんな方法で調べて、欲</p>	③	⑦	⑩	<p>生活や社会問題の解決が、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることを理解している。【③探究的な学習のよさの理解】(まとめ資料)</p> <p>交流会を目的に、整理した結果や自分の考えを効果的に表現している。【⑦まとめ・表現】(まとめ資料)</p> <p>生活や社会の問題を解決する中で、自己の生き方を考え、自分で解決できることを新しく見つけようと</p>

	成長を資質・能力の視点で振り返る。	しい情報を効率よく集めることができたから、情報活用能力を発揮することができたな。				している。【⑩将来展望・社会参画】(振り返りシート)
--	-------------------	--	--	--	--	----------------------------

9 本時の展開

(1) 本時の目標 ※目安の学習進度の生徒

- 課題を解決するために、調べた情報を関連付けることができる。

(2) 本時の評価規準

- 情報を効率的に収集する手段を選択しており、情報を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠を持っている。【⑤情報の収集・⑥整理・分析】(探究記録シート、まとめ資料)

(3) 本時の評価基準

十分満足できる状況 (A)	おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C)
多様な情報を効率的に収集しており、情報を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠を持っている。	情報を効率的に収集する手段を選択しており、情報を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠を持っている。	Bを満たしていない。

(4) 本時の学習展開

	学習活動	○指導上の留意点 ◆努力を要する生徒への指導の手立て	◇教科の評価規準 (評価方法)
導入	1 学習目標・授業計画を把握する。		
	本時のめあて：自分の好きなこと・得意なことを生かして問題を解決しよう。		
展開	2 前時の振り返りから、本時の課題を設定する。	○活動の見通しがもてるように、前時の活動から、探究が進んでいる生徒の様子を取り上げ紹介する。 ◆担当教員が面談を実施し、前時の振り返りの「できなかったこと」から本時の課題を生徒と一緒に設定する。	
	3 個人の課題に取り組む。 Sさん：「介護×シナリオゲーム」 生徒アンケート・介護の参考書籍の情報を関連付けながら、プロットを作成する。 ※生徒によって、テーマや進度が異なるため「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究の過程は異なる。	○目的と活動にずれが生じないようにするために、目的を問いながら活動を支援する。 ◆探究が進んでいる生徒の取組を一緒に参観したり、ドライブ上のデータの参照を促したりする。	情報を効率的に収集する手段を選択しており、情報を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠を持っている。【⑤情報の収集・⑥整理・分析】(探究記録シート、まとめ資料)
まとめ	4 R80 を記入する。 5 R80 をシェアリングする。 R80 の例 プロットを作成する中で、どの業務を	○振り返りの視点を示す。 ・できたこと ・できなかったこと ・次に挑戦すること	

<p>どこに入れるか考えるのに時間がかかってしまった。だから、次回の授業では、1日の仕事の流れについて再度書籍で調べ直す。</p>		
---	--	--

(5) 板書計画

<p>本時のめあて：自分の好きなこと・得意なことを生かして問題を解決しよう。</p>	
<p>本時の流れ 説明 本時の活動の目標の設定 個人探究 R80</p>	<p>個別の指導スペース</p>